

Auto ULTIMATE COLOR

Autoアルティメットカラー

SB01 / SB03

輝く仕上がり!ときめくめっき調シルバー

従来品の『Autoマイカベースシリーズ』から容器を攪拌しやすいプラスチックボトルへ変更し、さらに環境対応型品の『Autoアルティメットカラー』としてリニューアルしました。
めっき調仕上げのホイールやホイールカバーなどに幅広く対応できるよう色調を2種類設定しました。

特長

- **一液性既調合タイプ**
(AutoD-1ベースHS、
Autoスイフト2K、
AutoVトップモナークExcellentへ 混合可能)
- **PRTR法に定められた有害物質
(鉛・六価クロム・トルエン・キシレン)
および特化則(特定化学物質障害予防
規則)該当物質は配合していません。**
(2020年3月現在)



用途

めっき調の意匠性を必要とする被塗物など

設定原色

原色 No.	原色名	特長
SB01	シルバーメタリックベース	標準的なめっき調タイプ(シルバータイプ)
SB03	ダークブライトシルバーメタリックベース	クロームめっき調タイプ(ダークグレータイプ)

※自動車ボディーカラーにおいては、上記原色を使用しないと色再現ができないボディーカラーがあります。

(2020年3月現在)

大日本塗料株式会社

使用方法(例)

①単独での使用例

工程		AutoD-1ベースHSの場合	Autoスイフト2Kの場合
カラーベース	主 剤	729 ブラック	729 ブラック
	硬 化 剤	AutoHS硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 10 / 60~80	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 10 / 80~100
	乾燥条件	60℃×40分	60℃×40分
メタリックベース	主 剤	Autoアルティメットカラー SB01 又は SB03	
	硬 化 剤	—	
	混 合 比	— ※1	
	フラッシュタイム	20℃×20分~30分	
クリヤー ※3	主 剤	Autoブレインクリヤー MX	AutoブレインクリヤーSF
	硬 化 剤	Autoウレタン硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー 又は シンナーECO
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 25 / 10~30	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 20 / 10~30
	乾燥条件	60℃×40分	60℃×40分

②調色配合での使用例 (マツダ 46G マシーングレープレミアムメタリック 管理番号: 0724 の場合)

工程		AutoD-1ベースHSの場合	Autoスイフト2Kの場合
カラーベース	主 剤	カラーベース配合	カラーベース配合
	硬 化 剤	AutoHS硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 5 / 75~120	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 10 / 150~180
	フラッシュタイム	60℃×10分又は20℃×20分~30分	60℃×10分又は20℃×20分~30分
メタリックベース	主 剤	メタリックベース配合	メタリックベース配合
	硬 化 剤	—	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー 又は シンナーECO
	混 合 比	主剤 / 希釈剤 = 100 / 200~300 ※2	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 4 / 200~300
	フラッシュタイム	20℃×20分~30分	20℃×20分~30分
クリヤー ※3	主 剤	Autoブレインクリヤー MX	AutoブレインクリヤーSF
	硬 化 剤	Autoウレタン硬化剤	Autoウレタン硬化剤
	希 釈 剤	AutoウレタンシンナーECO	Autoウレタンシンナー 又は シンナーECO
	混 合 比	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 25 / 10~30	主剤 / 硬化剤 / 希釈剤 = 100 / 20 / 10~30
	乾燥条件	60℃×40分	60℃×40分

※1 Autoアルティメットカラー単体でご使用の場合は既調合品のため、通常希釈剤は必要ありませんが、塗装環境や仕上がり具合の調整する場合は、希釈剤を混合する事は可能です。

※2 1液タイプのため、硬化剤は不要です。

※3 使用するクリヤーについては、あくまで推奨するクリヤーを記載しております。その他のクリヤーをご使用の場合には、各クリヤーの塗装仕様に従って塗装を行って下さい。

* 上記の使用方法はあくまで参考例です。被塗物や塗装環境(条件)などに応じて、調整して下さい。

■使用上の注意

引火性の液体で、危険有害情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
2. 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
3. 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、エリ巻きタオル、保護手袋等。
4. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
5. 塗料の付いたウェスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
6. よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
7. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
8. 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。

9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
 10. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。
- 緊急時の処置
1. 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
 2. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 3. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 4. 皮ふに付着した時には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
 5. 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
 6. 容器からこぼれた時には、布で拭きとり、その布を水の入った容器に保管して下さい。

◎7

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせください。

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。